



復刊第45号

年頭に当って

会長 三 神 美 和

会員の皆様、明けましておめでとう  
ございます。昨年と同様、本年もよろ  
しくご協力の程お願い申し上げます。  
今年もまたお互に手をとり合って前  
進致しましょう。

昨年は国をあげての行事、万博の年  
でありました。わが日本女医学会もその  
一翼をにない、万博に明け暮れた年で  
ありました。しかしこれによって日本  
女医学会の存在を国内外に知らしめ、そ  
の実力を高く評価せしめた年でありま  
した。この余波をうけて十一月十五日  
の臨時総会は日本女医学会史上空前の出  
席率を示し、本会の前途に一段と明る  
さを増したのであります。今年も本会  
にとつて幸多き年であることを確信し  
ております。

出された地区代表ともいえる方々を網  
羅しておりますことは、本会の発展に  
とつてまことに喜ぶべきことでありま  
す。私は総会の総意により、再び会長  
の名を頂くことになりましたが、微力  
な私が今後の日本女医学会の船頭として  
適切かどうか、今更のように反省させ  
られるのであります。しかし選ばれた  
以上、その責任を感じ、本会のために  
粉身努力しなければなりません。幸い  
有能な理事の方々がおられます。この  
方々が私の至らぬところを補ない、誤  
りあらばこれを是正し、本会の進路に  
間違いない様に運営して下さいること  
と思ひます。また、全国の会員の方々  
も、昨年の万博医療奉仕に示した精神  
で私を助けて下さると存じますので、  
私も安心してこの重責を全うするよう  
つとめることができます。

しかしここでハタと当惑致しまし  
た。それは資金の点であります。事業  
部がより大きく、より強力に活動する  
ためには、それに伴って費用も増えて  
参ります。それに対する資金が本会に  
は不十分であります。目下のところ事  
業資金は年金の手数料にたよっている  
のであります。年金の口数が計画の  
半数にも達せぬ現状でありますので、  
今までは、新しい計画の遂行は不  
可能な状態であります。

そこで本年第一に着手しなければな  
らないのは、会員の皆様のご協力を得  
て、年金加入数をふやすことでありま  
す。年金倍加運動こそ本年の目標であ  
ると考えております。年金は加入者自  
身のためであり、また本会にも貢献す  
るものであります。これこそ相互扶  
助につながるものと言えましょう。本  
会発展の原動力といえる年金にお一人  
でも多くご加入下さいますようお願い  
申し上げます。

本年五月には高知市で定期総会が開  
かれます。高知支部の方々は、支部長  
窪先生はじめ皆様、非常に協力的で、

第十六回日本女医学会定時総会及び観光旅行

昭和四十六年度の日本女医学会総会が左の日程で開催されます。  
日時 昭和四十六年五月十六日午後一時より総会 午後五時より懇親会  
場所 高知市鷹匠町 三梨園ホテル 電話(〇八八八)七三三三  
高知県支部では総会後の観光旅行を左の如く計画しております。  
つきましては、南国土佐も観光シーズンのため皆様方多数のご参加を頂くに  
は前もって準備万端いたしたく、同封の私製ハガキをご使用の上、ご希望予定  
のコースを〇でかこみ、折返しご返信下さい。  
一応〇切は三月末日です。(〇切後あまりおそく、ご申し出になりますと宿が  
悪くなりますが或程度追加もおまします。)  
既に発送済みの観光用アンケートを出した方も確認のため今一度忘れずにお  
出し下さい。

旅行日程

- 五月十七日  
Aコース(高知近郊コース)  
高知(九・〇〇)―竜ヶ洞―五台山―桂浜(中食)―高知城―市内―  
高知(一六・〇〇) 解散  
Bコース(室戸コース)  
高知(八・〇〇)―室戸岬スカイライン―室戸岬(中食)―竜ヶ洞―  
高知空港(一七・〇〇)―高知駅(一七・三〇) 解散  
Cコース(足摺コース)  
高知駅(九・五〇)―土佐中村(中食)―竜串―見残―足摺スカイラ  
イン―足摺岬(一泊)―翌日高知帰着(二五・〇〇) 解散  
Dコース(足摺岬まで同じ)―岬港(九・三〇)―土佐中村―佐川―三坂  
峠―道後(一八・〇〇)―一泊後解散  
Eコース(足摺岬まで同じ)―岬港(九・三〇)―土佐中村―佐川―三坂  
峠―道後(一八・〇〇)―一泊後解散

。ご来高の便宜をはかり五月十六日の大阪発九・〇〇と一〇・〇〇の飛行機各  
五〇席予約してあります。なお前日祭よりご参加のために  
五月十五日  
五月十五日  
五月十五日

。雄大な太平洋をみわたす料亭にて生えび料理を味わう会の準備もいた  
してあります。ゴルフを楽しまれた方もそのあとでご参加出来ます。  
五月十六日総会前中は有名な日曜市(近在各地より雑多なものを持ち  
よった露店市)の散歩をご案内いたします。

費用  
総会 一、〇〇〇円 懇親会 二、五〇〇円  
宿泊 Aコース 一、八〇〇円  
Bコース 二、八五〇円  
Dコース 一六、五〇〇円  
Cコース 二二、〇〇〇円

見所、味い所  
竜串・見残 は海中公園指定で南海の海底をみまします。なお貝のギヤラリ  
皿鉢(サハチ) 料理、生きた太刀魚、尾長五五ある尾長鶏、土佐闘犬展示。  
アトラクション 真剣を用いた太刀踊り、尾長五五ある尾長鶏、土佐闘犬展示。  
竜串、洞 全長一Kmの鐘乳洞。等。

全コース、ガイドの他に高知県支部会員が同行してお世話いたします。ご来  
訪をおまちしております。

ルーベンダンの配布も万博医療奉仕も率先してご協力下さいました。

本年の総会についても早くから色々心と心を砕いて準備して下さっており、参下する、会員の皆様、奮ってご参加下さいませ。本会には会員相互の理解と親睦をモットウとしております、総会への参加はこの意味に於て、最効果的であると存じますので万障お繰り合せの上ご出席下さい。

本年は選挙の年とも言われております。本会は直接政治には関与しない建前ではありますが、私共個人、個人は民

### 日本女医学会臨時総会

常任理事

日時 昭和四十五年十一月十五日

(日)午後一時

場所 ホテル・ニューオータニ

総会に先立ち正午より雲居の間に於て左の通り評議会を行う。

通知発送数 一二五通

出席者数六七名

有効委任状 四一名 評議員会成立

評議員会次第

司会 山崎 倫子

一、議長選出 司会者に一任する。

森川みどり氏を指名され一同賛成。

二、会長挨拶 三神会長

本日の総会出席会員四〇〇余名の

多数となり誠に有難うございます。万

博報告及び役員選挙という大事な議題

があるので充分に意見を出していただきたい。

主国家の一員として、投票権をもって

おりますので否応なしに間接的に政治

に関与することになります。若し候補

者が私共の立場を代表する時は、その

方を是非当選させたいものと願わずに

はおられません。私共を代表する方

の選ばれますよう希望してやみま

せん。

公書や中国問題など吹きあれる一九

七一年の年頭に当り、皆様にとつてよ

い年でありますよう念じつつ、新年の

ご挨拶と致します。

× × × × ×

森 千 鶴

三、万博庶務報告 久保田理事

四、万博会計報告 山口理事

五、議題

一、名譽会員推薦の件

三神会長『今回土倉副会長が高令に

なられたので後輩に途をゆずりたいと

の事で理事を辞退された。私達は永年

の功績に対し名譽会員になっていただき

たいと思うが如何。』

全員賛成

土倉先生挨拶『余生を休の続く限り

日本医学会の発展につくししたいと思

今後のご発展を祈ります。』

二、役員選挙の件

議長 定款施行規則第一五条に依れ

ば会長は総会の議長が出席会員にはか

りそのつど選出方法を決めるとあるが

或程度評議員会の意向を決めても良い

と思うが如何か

①立候補者 ②議長候補の推薦

①に対しては希望者なし ②に対し

て、福田氏より現会長三神氏を推薦す

る。橋本氏松岡氏より或程度の案は評

議員会に於て決めて良い。南氏、荒川

氏、大内氏より各々の発言あり評議員

会案をきめるかどうかの決をとった。

賛成多数。

又大原氏、福田氏、山崎氏、柳瀬氏、

石田氏等より発言あり種々討議の末議

長より次のように提案される。

『①三神先生に再度もう一期会長に

なつてもらいたいと云う意見。

②総会で投票形式をとるようになる

と云う意見。

二つの案を評議員会案として総会議

長に報告する。』

以上決をとつて、多数賛成。議事終

了。午後一時

六、閉会挨拶 小俣副会長

臨時総会議事録

午後一時十分開会

会員総数 四、二五五名

出席会員数 四一一名

委任状 一、四八八名

司会者 山崎 倫子

以上によりこの総会が成立する旨を

宣す。

一、開会の辞 副会長 川那部喜美子

本日は皆様公私共にご多用のところ

多数出席され一方ならぬ熱意のほど

と深く感謝する。皆様方のご協力を願

う旨を述べられた。

二、会長挨拶 会長 三神 美和

本日は全国津々浦々から会員の皆様

ご多忙中ご出席いただき、近來まれに

見る総会を催すことが出来た事は、皆

様が日本女医学会に対して非常に関心

を持たれた証拠であり、ひとしお嬉し

く思う。本日の臨時総会には役員選挙と

万博医療サービスの総決算を報告し、

又社団法人として第一回の役員選挙で、

その意義は非常に大きい。皆様十分ご

考慮の上お選びいただきたい。新しい

社団法人としての新定款は、従来のも

のと全く面目を一新いたし三十五名の

理事のうち九名ずつは三同窓会より選

び、残りの八名をこの総会で選ぶこと

になった。これは今後自由選挙への第

一步を踏み出そうと云う意味を持ち、

将来は出身校と云う垣根を取り除き、

一本の日本女医学会へと発展するのが理

想的である。次に万博医療サービスは

二年間にわたる準備期間があったとは

いえ、あの大事業がなすとげられたこ

とは全国の皆様のご協力があったれば

こそと深く感謝申し上げます。厚生省へ

出した万博予算書は八五〇万円。見積

もりは一日八名、実動一、四六四名。

募金は一、〇〇〇万円。実際は皆様の

ご熱意により、実動人員一、七二六名。

募金も一、〇〇〇万円突破。万事都合

よく万博が終了した。運営面に於て

も、皆様のご協力と事務の方々の非常

に熱心なご配慮によるものと心からお

札を申し上げます。本日は非常に短時間

に理事の選挙その他の議題があるので

これをもって挨拶とし、ご清聴を感謝

する。と述べられた。

三、議長選出

会長に一任、全員賛成

議長団 窪 敦子、中里玉子、

谷野富喜子

議長 窪 敦子

四、議事録署名人選出 議長に一任

梅津隆子、添田百枝両氏を選出す。

五、選挙管理委員長任命

『選挙準備委員』

大内広子、日野千代、木原シヅ子、

富山艶子、中村酉子、吉田美喜子、

松井トシ、五島瑛智子、藤井信子、

大下久代、古沢サチ

以上の方々を引続き選挙管理委員に

任命す。

六、万博報告

(1)万博庶務報告 久保田 くら

昭和四十三年二月十一日 臨時総会

に於て東条理事より万博医療奉仕の

提案あり参加を決議する。

昭和四十三年十月 救急医療奉仕に

対する役務提供を万博協会々長石坂

泰三氏に申し入れる。

昭和四十三年十二月 石坂泰三氏よ

り正式に役務提供受諾の書面あり。

昭和四十四年二月 医療奉仕に対す

る申し込みアンケートを全会員に発

送する。

昭和四十四年十月 社団法人日本女

医学会認可さる。

昭和四十四年十月二十日 社団法人

日本女医学会として万博医療参加申込

書提出(看護協会と協賛に非ず。)

其他「万博グラフ」「白衣」(会員

各位よりの一口五〇〇円寄附)等約

万博収支決算書

自	昭和43年7月1日		
至	昭和45年10月13日		
<b>万博基金</b>			
ルーペンダン	5,185,977円		
白衣他座	247,090円		
前進金	854,100円		
寄付金	7,453,600円	大口 4,743,840円	
受取利息	322,441円	会員 2,709,760円	
宿泊収入	926,005円		
計	14,989,213円		
<b>万博経費</b>			
① 記念品代	8,657,500円	(1,726名~延人数)	
② 通信費	382,992円		
③ 印刷費	328,922円		
④ 会議費	212,061円		
⑤ 旅費交通費	852,356円	(役員旅費・出張費・旅費)	
⑥ 宿舍賃借料	483,600円	(74,400×6.5 カ月)	
⑦ 寝具費	322,455円	(クリーニング代他)	
⑧ 宿舍設備費	487,956円	(風呂、冷蔵庫、こ)	
⑨ 燃灯費	70,857円	(たつ他電気、ガス)	
⑩ 人件費	477,550円	(大阪職員、パート)	
⑪ 事務所費	260,000円		
⑫ 予備費	370,000円	(会計士)	
⑬ 備品費	35,260円		
⑭ 消耗品費	46,940円		
⑮ 雑費	76,545円		
⑯ 万年社支払い	200,000円		
計	13,265,004円		
差引計	1,724,209円		

一、〇〇〇万と云う目標額に達した。  
 昭和四十五年三月十四日 万国博開  
 会式  
 昭和四十五年九月十二日 万国博閉  
 会式  
 昭和四十五年六月九日 朝日新聞  
 「声」の投書に対し「提さんの投書  
 に答えて」投書をする。  
 昭和四十五年九月十九日 万博懇談  
 会  
 昭和四十五年十月九日 医療奉仕参  
 加会員に記念品代発送  
 以上一八三日間、奉仕会員数一、〇  
 六五名参加延べ人員数一、七二六名、  
 なお万博宿舍設備に対する寄贈等の厚  
 意に感謝する。

(3)ルーペンダンについて 松岡宏子  
 昭和四十五年十一月に実用新案特許  
 を許され日本女医学会の登録となる。旨  
 報告さる。  
 七、事務職員表彰  
 三神会長より「感謝状」と「金一封」  
 を贈る。  
 小川きみ子 野田 真弓 後藤 照子  
 石橋 親子 小川 安子  
 八、議題  
 (1)名譽会員推薦の件 三神 美和  
 名譽会員に土倉恒先生を推薦され、  
 全員賛成。ついで土倉先生より余生  
 を会のために尽したいと感謝のご挨拶  
 があった。  
 (2)理事選挙の件  
 議長 理事選挙を宣す。  
 選挙に関する説明を選挙管理委員長

大内広子が行なり。  
 投票用紙 理事会で定めたもの。  
 半数連記 立候補者十二名中、八名選  
 出のため、四名又はそれ以下一名で  
 もよい。但し、四名以上記入のもの  
 は無効。  
 立会人 定款施行規則により選挙管  
 理委員が兼任する。  
 開票は選挙管理委員会に依り別室で  
 行い。その間映画「道ひとすじ」を上  
 映。休憩。  
 開票結果発表  
 選挙管理委員長 大内 広子  
 投票用紙配布数 四〇七枚  
 有効投票数 四〇四票  
 当選  
 守安 素女 長池 博子 佐野アヤ子  
 佐藤千代子 松岡 宏子 綾仁 伸子

阿部 秀世 中村 キヌ  
 次点 福田 貞南 春枝 藤本佐賀枝  
 阿曾 滋子 以上  
 (3)監事選挙  
 議長 定員三名の処、候補者三名なの  
 で全員当選という事でご承認頂きた  
 い。(拍手)  
 (4)会長選挙  
 議長 会長の選出については定款施行  
 規則に依り「総会の議長が出席会員  
 にはかりその都度選出方法を定め  
 る」となっており、評議員会は總會  
 に付議する事項を審議する事になっ  
 ている。先程の評議員会では①現会  
 長をそのまま新会長に、②総会で投  
 票の形式をとる。(即ち今回選出の  
 新理事三五名中より互選)と云う二  
 つの意見が出たが、そこで最も良い  
 方法で選出したいのでご意見を伺い  
 たい。  
 今井(栃木県)理事の互選が良いと思  
 う。  
 坂元(至誠会)今回は加多乃会からも  
 どなたか立候補して戴いて全会員で  
 選挙するのが良いと思う。  
 及川(東京都)会長回り持ち説も良い  
 が色々な面から理想と現実とは一致  
 しない。とに角やってくる人でな  
 ければならぬ。三神先生に是非今  
 一度やって戴きたい。

議長 その他のご意見は  
 児玉(至誠会)一番大切な事は皆が協  
 力一致して私達の地位を高め又、勉  
 強していく事だと思ふ。できるだけ  
 一人一人が不満の無い方法で選んで  
 欲しい。どこからでもよい。立候補  
 していただき選挙の方法にもって行  
 くのは如何。(拍手)  
 議長 会長の立候補という定款は無い  
 ので立候補はできないのです。他に  
 ご意見は。  
 荒川(東京都)(国会に於ける佐藤首  
 相四選の例を引き)この人だとの本  
 意があっても少数のどんな意見があ  
 るかを投票数に依って知り自分の心  
 に踏まえて会長になれる事は現代  
 的であると思ふので選挙に依るのが  
 良いと思ふ。  
 坂元(至誠会)立候補の定款が無いと  
 いわれるが「総会に依って方法を」  
 とあるのでこの席で立候補という事  
 では如何。  
 司会者 司会者が発言して申訳ないが  
 理事の中から選ぶ事が定款にあり、  
 大人物が居られたならば是非理事にな  
 って戴きたい。  
 明石(至誠会)国際女医学会に出ても人  
 種を越え同格に渡り合える人を選ん  
 で欲しい。  
 議長 簡単に今迄のご意見を纏めます  
 と、①同窓会の回り持ち。②三神先  
 生推薦。③人物本位。④立候補して  
 選挙で決める。⑤選挙で決める。⑥  
 国際女医学会でも名の通る方を。これ  
 だけの案が出ている。結局選挙に持

つていく際、新しい三五名の新理事が全員会長候補である。

加多乃会川那部先生の発言がありま

川那部喜美子 皆さんのご配慮有難く

拝聴致しましたが加多乃会の事につ

いてはどうぞご放念下さい。私個人

としても三神先生のフアイトに感服

しています。加多乃会に対する皆様

方のご配慮に感謝いたします。

議長 加多乃会のご意見もきき、①三

五名の新理事からの選挙。②理事の

互選。の二つになるように思うが。

松岡(至誠会)議長団の意見は今の二

つの意見だけでは無理かと思う。

福田(鶴風会)三五名の理事の中から

議場で計り候補者が二名又は三名の

場合は投票。一名の場合は当選と云

う事では。(拍手)

大川(至誠会)空前の盛会故、三五名

の中で全員立候補の形で投票する方

法は如何。(拍手)

議長 議長団相談のため五分間休憩。

議長 相談の結果、全員の選挙に持っ

て行ってもよいが、三五名の先生方

で互選していたといはという事に

なりましたが如何。

異議なしと呼ぶ者あり。全員賛成。

議長 皆さんご賛成いただいたと解釈

する。別室で相談のため十分間休憩。

司会者 会長選挙の結果が出たので報

告します。

選挙管理委員長

会長選挙を理事の互選で行った。理

四名です。その結果

三神 美和 三三票(拍手)

橋本恵美子 一票 以上です。

新会長挨拶 三神 美和

私は教授の現職ではあり又、附属病

院の院長もして居りまして、非常に多

忙ですのでこのような名譽ある会長の

職をいたゞいてもこれを遂行できるか

どうか危んで居りますが、会員の皆様、

役員の方々に依って何とか社団法人日

本女医会として、今後社会のため、医

学のために貢献して行きたいと思っ

ています。又国際的にもこの会は重要で

すので、どうぞ今後共宜敷くご協力お

願い致します。私の微力を皆様の力で

支えていたゞきたいと思ひます。ど

うも有難うございました。(拍手)

九、議長団退任 (拍手)

十、旧理事退任

司会者 旧理事四五名は本日限り解

任。本日より新理事のもとに日本女

医会の事業を新執行部が行いますの

で、ご承知下さい。

十一、副会長、常任理事の承認

選挙管理委員長より発表され承認さ

れた。

(1)副会長 新理事の互選に依る

当選 山崎倫子 小俣喜久子 川那部喜美子

次点 中川 富士

(2)常任理事

(1)各グループからの選出

至誠会

山本 杉久保田くら 中西 清子

次点 小野 春生

山本 杉氏より多忙のため常任理事

就任を辞退し次点の小野先生にお願

しい旨の発言あり、拍手を以て受

け入れられる。

鶴風会

中川 富士 白橋 美笑 柳瀬 路子

加多乃会

大原 一枝 森 千鶴 丸山 美実

(2)新理事の互選に依り。

守安 素女 以上

### 新理事の抱負

「もぐら」の役を……

長池 博子

日本女医会——社団法人認可……定

款改正……役員の一部公選……とい

ことで、役員立候補制がしかれて、

臨時総会が開かれ、その席上、理事に

当選ということになりました。思いが

けない程のご支援を得ましたことを、

たゞと感激しております。

理事になりましたの抱負など、特別

持っているわけではありませんが、地

方末端の会員の声も反映させること

を願ひ、パイプの必要を感じて、ご推薦

を受けましたので、さし当っては、東

北ブロックの連携を呼びかけたいと思

っています。

現在のところは、本部が各県支部と

タテにつながっているだけの状態です

が、私が宮城県から理事に選ばれたこ

十二、閉会の辞 小俣喜久子

本日は全国各地からお集り下さいま

して有難うございました。お蔭様で日

本女医会始つて以来の盛大な会で終始

なごやかに役員選挙も無事終り、会長

に再び三神先生をいたゞく事になりま

した。誠に御同慶の至りでございま

す。今後共日本女医会発展の為にご支

援ご協力をお願い申し上げます。本日は

有難うございました。

午後四時四十五分閉会。

とによって、地域的な横のつながりを

組織化し充実させることが出来れば、

意義のあることだと考えます。

仕事には昼夜の別なく、春秋の別も

ない程に心がけますが、東北地方の活

動は、やはり春の息吹を感じる頃から

でしょう。

第一に各県支部から世話人的代表者

二、三名づつにお集り頂き、懇談をし

て、ブロック毎の地方事情をよく知る

こと。

第二に各県の支部総会の時は是非出

席させて頂いて、皆様の意見を聞くこ

と。『道ひとすじに』のフィルムはこの

際、大いに活用し視察して頂きたいと

思っています。こうして全国的なプロ

ジェクトの組織化が出来れば、何の事業に

上ると思われます。

本部の理事会には、暮の初顔合せ

で、一回出席したゞけですが、今後、

勉強させて頂くことが沢山あるよう

です。

日本女医会の高邁な理想立案は、国

際的視野の広い先輩にお願いして、私

は専ら、土堀り、地ならしと、くずれ

ない土台を築くための「もぐら」に終

始したいと念じています。

どうぞ、よろしく……。

稲葉 幸子

理事に就任致しまして日も浅く、抱

負なぞと口山たいことは申し上げられ

ませんが、一言かたんに申し述べさ

せて頂きます。その第一が女医の社会

的位置づけ——男子医師に比して——

医師である点では全く変ないのに、時

に女であるために軽ぜられることが現

在でもあること、この向上を計らなく

てはいけないのではないかと、いうこ

と。第二は老後の保障問題もさること

ながら、身障児の完全収容施設をせ

ひ国の力をつくってほしい。これは、私

が小児科医であるためでしょうか、外

来でしばしば母親から、この子のため

にと相談をうけましたたびに、痛感し

ております。私達女医の手で、何とかそ

の筋へ、パイプの役になれないもひか

と愚考致して居ります。

終りに私は、日頃、日本の女医の中

で、誠に数少ない教授、又はご自分で

社会事業をなさっておいでになる先生

方に心から敬意を表します。今後、お

若い方々がごんごん国の内、外を問わず活躍できるような場を与えられますよう、又その域を日本女医学会の手で開拓出来ないものでしょうか。

とも角も全女医を通して、血の通った大きな抱擁力のある日本女医学会でありますよう祈つてやみません。微力ではございますが諸先輩の先生方のご助言を頂いて努力してみらつてもいいです。

### 守安素女

新米理事に日本女医学会への抱負を書くようにと編集部からご連絡を頂きましたが、何と申ししてもはじめて入学を許された一年生に過ぎない私には、昨年度の第一回の理事会では先輩の理事の諸先生方のお名前を覚えさせて頂くことが第一の勉強でございます。その席上、事業部と言う大役を担いだすことになりまして責任の重大さを痛感いたしておりますが、一日も早く仕事に馴れましてお役に立つことが出来まますよう、一生懸命努力いたしたい気持ちで一杯でございます。

先日高知女医学会誌を拝読させて頂きました。高知女医学会の先生方が、『人の和を基礎とした協力』をモットーとして見事に閉結しておられる姿を覗くことが出来まして感銘いたしました。『人の和』で閉結した支部、支部が大きくまとまった日本女医学会であつてほしいと思ひます。

そしてトップレベルを行く女医の団体にふさわしい日本女医学会であり、又国際女医学会の中の日本女医学会として、世

### 夏期活動を終えて

東京女子医科大学無医地区研究会  
昭和四五年年度学生責任者 浦本恭子

過去五年間、当無医地区研究会は岩手県閉伊郡岩泉町安家および釜津田の両地区におきまして、公衆衛生活動および、無料検診を行なつてまいりました。もともと岩泉町におけるこの活動は五年計画で始められたものです。昨年度での五年目が終わったわけですが、まだ多くの問題が残されております。住民とのコンタクトもやっと出来てきたところで、今までの経験を生かしてもう少しこの地区で活動を行なう予定です。新しく試みたいこともありましたので、二地区というのは少し広すぎて、充分なことが出来ないというところで、今年から、安家地区だけを選び、この七月に活動を終えてまいりました。今年の活動方針といたしまして、過去五年間のデータを整理し検討をくわえ、その結果から出る問題を把握し、問題点を解消できるように漠然としたものではなく、目的を達成するために、私たちがいろいろの具対策も考へて行動いたしましたつもりです。ここに今年の活動内容と簡単な結果とをご報告致します。

界中の女医さん方と仲よく手をつないで行きたいと存じます。

五年間のデータから得られることがらすべて記入された、カルテについていろいろ話し合い、また食事調査や労働状態などの生活調査と、十五才以上の全員に血圧測定、尿検査を実施、本来ならば全部に実施したすべきですが、時間的、地理的に無理な点があり、今年には十部落中二部落を選んで実施いたしました。岩手県における活動期間は三週間、学生は二人一組、毎日朝三時または四時に起き、盛岡の自動車販売店協会のご厚意によるワゴン二台をピストン運転して各部落に向い、大体朝五時から七時の間に訪問するよういたしました。山村の人びとは七時には仕事に出るので七時前が家族全員の揃う時ということ、先方の希望に合わせたため早朝の訪問になったわけがあります。訪問が終わると、こちらはまた宿へ帰り朝食をとり、その日の診療会場へ。夜は夜で今日の事がらの始末と明日の準備などがあり、大層忙しい毎日でありました。いま思うと一回皆よくやったものと感心いたします。

次に寄生虫検査についてご報告致します。この場合は、全員を対象に、塗抹、浮游および培養法を行ない、陽性



→東京女子医大無医地区研究会の夏期検診活動II小学校分校でII岩手県岩泉町安家・釜津田地区I昭和四五年



者に対しては駆虫薬を投与しました。申し遅れましたが、十部落のうち四部落は今年初めておとすれた部落であり、比較しますと、回虫陽性率は平均して

高い結果が出ました。そして一番陽性者の多かった部落には、陽性、陰性にかかわらず全員に投薬を行ない、その効果は後検を行なって調べることにしています。

無料検診につきましては、従来の内科・小児科・婦人科に加えまして、今年には耳鼻科・皮膚科・眼科をも設け、住民の健康、疾病の状態を把握しようということにしました。検診の結果は、この地区に特有の疾病というものはありませんが、目立つことは、高血圧者が多いということ。肩こり、腰痛、頭痛の訴えを持つ者が多く、これは労働過重による農夫症ではないかということ。また一般的な衛生観念の低さから、少し注意すれば防げるような軽度の疾患、例えば眼科では結膜炎、皮膚科では汗疹が大人にも子供にも多くみられたことなどです。母子関係では、母親の仕事が多いため育児にかける時間が少なく、そのために、特に問題になるのは離乳期であるが、一般に離乳が遅く、したがってその後の発育にも影響を及ぼし、一般に子供の体位が劣る結果をまねきます。

以上の検診の結果を、健康台帳としてまとめ、役場と診療所とに送り、何かの折にお役にたてようというにいたしました。今夏の活動も終わり、ただ今はその当時の活動報告書を作製中ですが、データを整理しながら活動その他を振り返つてみますと、まだまだ多くの問題が残されていることを知り、私共の力が本当に微々たるものであることが

画期的な年金制度

女医年金のご加入のおすすめ

この年金制度は日本女医学会会員の皆様のために、特別に作られた制度です。この制度にご加入になりますと、皆様には、多額の年金が約束されると同時に、日本女医学会の資金も確保され、有意義な事業が進められます。なわち、この制度は、会員皆様の老後の生活安定と、日本女医学会の発展の一石二鳥を狙ったものです。是非ともこの有意義な年金制度にご加入されることをお勧めいたします。

◆他の年金制度に比べてだんぜん有利
この制度は皆様の掛金が複利で利殖されますので、低い掛金で多額の受給が約束されます。他の年金制度と比べても相当有利になっております。

例1 四十才で一口加入の場合
老令年金額 毎月の受取金額
.....二五、五六〇円
.....三、〇六七、二〇〇円
.....自己負担金額
.....九〇〇、〇〇〇円
例2 五十六才で二口加入の場合

感じられます。こういう活動の理由や意義を正確に理論づけようとしたしますと、結論を得るのがむづかしくなり、壁につきあたってしまう。そんな時は、一同で話し合い、学生としてのクラブなりの方向性を見出すようにしています。未熟な私共ですが、今年も無事活動を終えることができました。これは、各方面からのお力添えがあったことですが、特に日本女医学会からは多大なご援助を頂き、感謝に

老令年金額 毎月の受取金額
.....一七、八八〇円
.....十年間の受取総額
.....一四五、六〇〇円
.....自己負担金
.....一、〇〇八、〇〇〇円

◆日本女医学会の発展に役立ちます
この制度は皆様に有利な年金給付をしながら、会の資金も確保できる仕組みになっており、会としての事業を進めるのに役立ちます。

◆一時金で受け取ることもできます。
(開業資金などに便利)
この制度には、老令年金のほか、遺族年金、脱退一時金、遺族一時金の制度があります。脱退一時金は、加入期間に応じて、皆様の掛金に有利な利息をつけてお返しいたします。ですから将来開業される方、病院を拡張される方などにも貯蓄としてご利用になれます。

例 一口加入 満十五年中途脱退の場合
受取金額.....八七二、四六〇円

堪えません。現地で協力して下さる役場の方がたや保健婦さん、お忙しい中を現地におもむいて診療を受け持ってください。下さった東京女医大病院の先生方、本当にありがとうございます。今後私達の力の及ぶ限り頑張りたいと思います。今後もお話し、ご助言、ご批判とうを頂きますようお願い申し上げます。

自己負担金額：五四〇、〇〇〇円
◆掛金の払い込みは銀行の自動振替で
掛金の払い込みは最寄りの富士銀行及び安田信託銀行本支店の皆様の口座から毎月自動的に振替送金ができます。また、両行の支店のない地域の方や未だ両行とお取り引きのない方は、日本女医学会振替用紙をご利用のうえ、郵便局から五月と十一月に六ヶ月分をまとめて納めていただくこととなります。
◆当事務局ではスムーズな運営をはかる意味で、できるだけ銀行の自動振替をお勧め致します。現在未取引の方はお近くの両銀行本支店に口座開設することによってご利用下さい。最寄りの両銀行からも個別に訪問するようお願いしてあります。
振替手数料は皆様の自己負担です。お申し込みはなるべくお早めに
期 限 毎年四月一日～四月三十日
および十月一日～十月三十一日
の年二回受け付けます。
申込書 同封の加入申込書に必要事項をご記入のうえお送りください。
その他、詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

学生の報告に寄せて

東京女子医科大学
無医地区研究会顧問
石井 妙子
(公衆衛生学担当教授)

文字通り、学生の、学生による、学生のための自主研修組織である、東京女子医科大学学生会・無医地区研究会は、一九六五年創設以来毎年夏期、必

要に応じては冬期または春期にも、岩手県の一僻地を対象に検診活動をつづけてまいりました。六年前わずか数名の五年生有志によって始められた本会も、いまでは入学一年生から最高六年生まで六〇名余の大部隊となり、入学以来、四度の夏休みを、毎年々々無医地区活動にたずさわり、本年は班長に育った四年生も少なくありません。

自ら組織し、自ら学び、考え、行動する、若い学生たちの真剣な態度と働きは、村を、町を動かし、県庁からも特別の期待を受けられるようになったのであります。最初の三年は、資金集めの音楽会開催などに勉強のかたわらの余計な労苦を払わねばならなかったのですが、四年目からは漸くいくつかの団体から奨励金を頂くようになり、以後はひたすら検診のための勉強と労働にすべてを捧げられるようになりました。とくに日本女医学会からは、一九六八、六九、七〇年とひきつづき、援助団体の中では最高額の各年二〇万、三〇万、四〇万円というお金を、僻地診療の援助資金として頂きましたことは、学生たちをどんなに力づけ、その活動を援けて頂きましたことか、ここに厚く厚くお礼を申しあげます。

医学教育の中の現地訓練の重要なこととは申すまでもないことですが、都市にある大学において、山村僻地の現地と実習を、正規の学課内に組み入れることは、まず殆んど不可能であります。そこで休暇中に行なう自主研修として

の現地活動、士下級生一体となった組織活動の体験が、活動参加によって習得できた検査技術の習得や診療学習にもまして、将来医師となる学生の血肉をいかにばり肥やすことか、はかりしれないものがあります。
貴いご援助が、学生たちのより活発に、より硬く多きものとなりましたことを、ここにご報告、お礼申しあげますとともに、今後とものご指導を切にお願いするものであります。

名簿係よりお願い!

全国的に市制施行などによる番地変更電話番号、局番の変更などが続いています。今回の名簿発行に際し、総会返信、万博医療奉仕カード資料で大中に整理いたしました。しかし名簿発送後多数の変更に加え一部誤りがありました。このことを深くおわび申し上げます。住変更補充を同封いたしましたので、昨年十二月発行の名簿に挿入いたさうございます。

昭和四十六年 二月二十五日 印刷
昭和四十六年 二月二十五日 発行
編集人 森 千鶴
発行人 日本女医学会
発行所 東京都新宿区市ヶ谷河田町19
社団法人 日本女医学会
印刷所 東京都港区白金五丁目一
興栄美術印刷株式会社
題字 吉岡 弥生